

東京都パワーリフティング協会

創立 40 周年記念

2018年3月4日

上野、東天紅

写真：東京都協会副理事長、物江 毅



東京都パワーリフティング協会の歴史は、日本パワーリフティング協会の発足とほぼ時を同じくして始まり、創立以来 40 年を迎えた。その間、様々な理事長が、それぞれの思いで、東京におけるパワーリフティングの発展に貢献してこられた。近年、この 20 年近くは、小森正昭理事長（写真左）が、東京都を率い、年々増加する選手のために、春、秋の大会開催に尽力され、また、国体参加への関東におけるルール作りにも貢献してこられた。小森理事長の肝いりで、40 周年記念行事が開催され、過去の理事長一覧、過去の歴史、過去の競技会暦をまとめた冊子も発行された。この冊子は、東京都パワー

リフティング協会の足跡を残す貴重な資料となった。

祝賀会には、東京都パワーリフティング協会会長の保坂三蔵氏（写真右）や、前会長の小野清子氏もご臨席くださった。また、現ウェイトリフティング協会会長の東京都知事、小池百合子氏も公務の合間を縫って、「ウェイトつながりでご挨拶に参りました。」と、小森理事長の熱心な招待に答えて下さった。

また、過去の選手や役員に、功労賞が授与され、東京都パワーリフティング協会の足跡を目の当たりにするようだった。

会に先立ち、東京都協会に尽力され、亡くなられた伊東亜細亜さん、上野浩幸さん、岩上勝夫さん、尾形勤さんに黙祷がささげられた。伊東さんの奥様、上野さんの奥様とお子様のご臨席され、改めてお礼を申し上げることができた。

福浦副理事長のご尽力で、タップダンスのアトラクションもあり、この 40 年を振り返る記念行事は、誠に盛大で、楽しく、華やかな会となった。これからも続く協会の節目となった東京都協会創立 40 周年記念パーティーの開催にご尽力された、東京都協会の現役理事の皆様へ感謝。（文：吉田寿子）





選手最大の功労者、因幡英昭 (写真上)。お祝いに駆けつけて下さったJ P C 宮本会長 (写真左上)、前会長小野清子氏 (写真左下)、小池都知事からもご挨拶を頂いた (写真右下)